

知床国立公園 60 周年・世界遺産 20 周年記念事業

知床星空散歩事業の結果と今後の計画

1. 2年間の実施概要

	実施期間	設定 日数	催行 日数	催行率	料金 体制	参加 者数	ガイドツアー
令和6年度	7月から10月	12日	8本	67%	町民無料 一般3,000円	137名	2事業者56名
令和7年度	7月から10月	14日	4本	28%	町民2,000円 一般4,000円	45名	2事業者52名

*ガイドは期間中52日間設定

2. 令和6年度実施計画内容

- ①天体観測・星空ツアー（高架木道を歩きながら星空観察、暗闇体験その後天体観測）

3. 令和7年度実施計画内容

- ① 天体観測・星空ツアー（高架木道を歩きながら星空観察、暗闇体験その後天体観測）
 ② 星空浴（高架木道を歩きながら暗闇体験、高架木道で寝転びながら只々星を眺める）
 ③ 星空撮影会（レクチャーあり、スマホでもOK）（高架木道の指定場所で各々撮影）

4. 参加者評価

- ・星が出ていれば期待通り、期待以上の評価100%
- ・夜間知床五湖高架木道の評価82%
- ・参加理由は星空観察が多かったが、夜間の高架木道を歩きたっかという声もあった（主に町内在住者）
- ・只々星を寝転びながら眺めたっか。
- ・ヒグマの心配もあったが、ガイドさん同行なので安心して参加できた。

5. 今後に向けた検討課題

- ・ガイドツアーの日数増
- ・催行の判断（2年目は晴れの日には催行しなかった）
- ・星空以外の活用方法

知床五湖高架木道活用事業計画（案）について

（１）事業名 「極上の星空・月夜・漆黒の暗闇を体感するナイトツアー」事業

（２）事業目的

知床半島は人工光が少なく、星空、漆黒の闇、満月の明るさ、夜行性動物の気配など、多様な夜の自然を体感できる希少な地域である。この夜の自然環境を地域資源として活用し、知床ならではの持続可能で質の高い自然体験を創出することを目的とする。

知床五湖高架木道という特別なフィールドを活かし、天候や月齢、動物の活動に応じて“夜の自然”の魅力を引き出すことで、天候に左右されにくい高付加価値のナイトツアーを実施する。

さらに、ヒグマの高密度生息地であることを踏まえ、専門的知識をもつ知床五湖登録引率者と連携し、安全管理と質の高い解説のもと、安心して参加できる体験を提供し、地域資源の価値継承と持続的な観光振興を図る。

（３）事業実施主体

主 体：知床斜里町観光協会
協 力：知床ガイド協議会

（４）事業期間

2026年7月1日～10月31日の間で知床斜里町観光協会、ガイド事業者が希望する日。

（５）利用の基準及びルール

- ① 利用するガイド事業者はガイド協議会会員であって園地に精通した知床五湖登録引率者に限定する。
- ② 利用するガイド事業者はツアー日程を設定後利用当日 7 日前までに観光協会に申請する。
- ③ 利用するガイド事業者は当日の催行状況を翌日観光協会に報告する。
- ④ ガイド事業者1名当たりの引率は15名までとする。
- ⑤ 利用時間は、午後7時から午後11時とする。（日没時間により変動あり。但し滞在時間は2時間以内とする。
- ⑥ 1日あたりの入園者数は80名までとする。
- ⑦ 利用する観察場所は、連山展望台、オコック展望台、湖畔展望台とする。
- ⑧ 斜里町に大雨、暴風等の警報が発令した場合はいかなる場合も利用を中止する。

（6） 共通管理

- ① 町道ゲートの鍵の管理は、観光協会及び知床ガイド協議会が責任をもって管理する。
- ② 複数のガイド事業者がツアーを実施する場合は、お互いに協力しながら、観察場所等の選定をする。
- ③ トイレは事前に済ませること。
- ④ 知床五湖駐車場料金については、管理する自然公園財団と協議する。
- ⑤ ツアー実施中インシデント、ヒヤリハット事例が発生した場合は観光協会に速やかに報告すること。

（7） その他

- ① 現在エコツアーリズム戦略の見直し作業が入っているため、新たな提案制度が策定された段階で改めて提案をしたい。